

洛北SSHだより

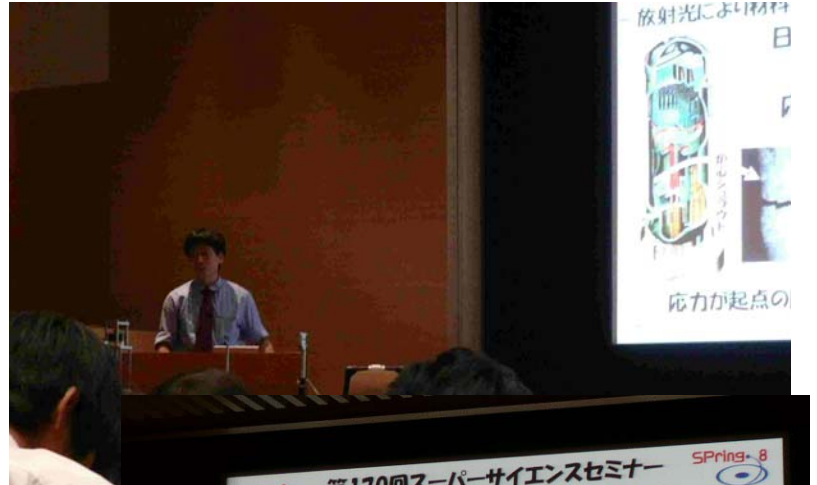
Super Science Highschool

2009年7月22日発行 第4号
・自然科学基礎校外学習
高校1年Ⅱ類

自然科学基礎校外学習

「関西光科学研究所」・「きつづ光科学館ふおとん」訪問研修

梅雨の晴れ間の6月23日(火)、1年3・4組83名が「関西光科学研究所」と「きつづ光科学館ふおとん」を訪問して研修しました。関西光科学研究所は日本原子力研究開発機構に属し、放射光を扱う播磨地区のSpring 8と今回訪問した木津地区のレーザー光を扱う施設からなります。10時について、まず、多目的ホールで放射光技術開発グループ研究副主幹の菅蒲敬久氏による講義を聴きました。「見えないものを診るー放射光により材料内部に潜む“ひずみ/応力”を解明するー」と題して、放射光を使うと非破壊検査ができるという話でした。難しい内容ではありましたが実験も交えて最後までよく聞くことができました。



生徒の感想より

- ・酸素や水素を圧縮すると固体になるということに私は驚きました。水素は燃やしても水しか発生しないから環境にもいいし、温暖化を止めるためにも多くを貯められるようになってほしい。
- ・放射光という言葉はあまり耳にしないが、身近な場所で使われている事が分かった。放射光は私達の生活に欠かせないものになってきており、これからも発達を見せ、私達の生活を支えていこう。



午後は研究の現場である光量子実験棟の見学や、光についての学習施設「きつづ光科学館ふおとん」の自由見学と燃料電池についての実験をしました。みんな興味を持って見学し、実験も手際の良い説明で楽しく理解できたようです。日頃の授業とはまた違って、いい勉強ができた1日でした。



生徒の感想より

- ・光のレーザーで木に字を彫った。木のように硬いものに光で彫ることができるなんて本当にすごいと思った。
- ・館内見学で、視覚を利用してつくられたさまざまな光の世界に感動しました。また、実験教室では、先生が最後に水素を爆発させたことが印象に残りました。とても緊張感のあるひと時でした。



次回のSSHの行事は数学特別講義を実施する予定です。毎年数学の面白さに気づくような楽しい講義を行っていただいていますので、期待してください。